

リスクコミュニケーションに関する取組みについて

リスク分析手法に則り、リスク管理、リスク評価を実施する関係行政機関が連携して、リスクコミュニケーションを推進している。食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、環境省では、それぞれの担当官による4府省リスクコミュニケーション担当者会議を定期的を開催するなど調整を図りつつ、従来型の一方的な情報提供にならないよう、分かりやすい情報の提供や御意見募集など双方向のコミュニケーションの実現に努めている。

前回の第12回リスクコミュニケーション専門調査会（平成17年2月4日）の開催以降、食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省が連携して実施した意見交換会は、以下のとおりである。

また、各府省が行ったリスクコミュニケーションに関する取組みを別紙1, 2, 3に示す。

1. 三府省連携による意見交換会(平成17年2月4日～平成17年3月16日)

NO.	開催日	会議名	開催地
		講演テーマ・講演者	参加人数
1	2月9日	食品に関するリスクコミュニケーション（農薬に関する意見交換会）	宮城県
		「農薬取締法の概要について」 農林水産省 農薬対策室長 横田敏恭	129名
		「農薬のリスクと安全性評価について」 （財）残留農薬研究所 常務理事 寺本昭二	
「農薬に関する環境影響等について」 千葉大学園芸学部教授 本山直樹			
2	2月10日	食品に関するリスクコミュニケーション（食品中の化学物質の安全性に関する意見交換会）	岡山県
		「化学物質の国際的なリスク管理について」 農林水産省 食品安全危機管理官 朝倉健司	120名
		「農薬の適正使用について」 農林水産省 生産安全専門官 小峯喜美夫	
3	2月18日	食品に関するリスクコミュニケーション（食品のリスクアナリシス（リスク分析）に関する意見交換会）	鹿児島県
		「食品の安全性に係わるリスクアナリシス - 国際的な残留農薬のリスクアナリシス - 」 農林水産省 消費・安全政策課長 山田友紀子	199名
4	2月23日	食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏まえた食品行政の取組や消費者の方々との食品の安全・安心を確保するために何をすべきかについての意見交換会）	山形県

		「食品の安全・安心を確保するための取組について」 食品安全委員会 委員 小泉 直子 「食品の安全・安心を確保するための規格基準について（残留農薬等）」 厚生労働省 企画情報課課長補佐 広瀬 誠	194名
5	3月8日	食品に関するリスクコミュニケーション（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）	富山県
		「食品の安全性確保のための体制と取組について」 食品安全委員会 委員長 寺田 雅昭 「健康食品」の賢い選び方 (独)国立健康・栄養研究所 理事長 田中 平三	150名
6	3月10日	食品に関するリスクコミュニケーション - OIEの役割とBSEの国際基準 -	東京都
		「OIEの役割とBSEの国際基準」 国際獣疫事務局長 ベルナル・ヴァラ	152名
7	3月14日	「食品に関するリスクコミュニケーション（食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組に関する意見交換会）」の開催について	大阪府
		「食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組」 厚生労働省食品安全部基準審査課課長補佐 宮川 昭二	-

2. 今後の予定

開催日	会議名	開催地
3月17日	植物防疫に関する意見交換会	東京都

食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近（平成17年2月5日～平成17年3月16日）の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

・平成17年3月10日

「食品に関するリスクコミュニケーション（東京）～OIEの役割とBSEの国際基準」

（主催：食品安全委員会）

国際獣疫事務局（OIE）事務局長ベルナルド・ヴァラ氏より「OIEの役割とBSEの国際基準」のテーマで講演を行った後、会場との意見交換を実施した。

2. 意見募集の実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
H17年2月10日 ～3月10日	イソアミルアルコール、2,3,5-トリメチルピラジン及びアミルアルコールの食品健康影響評価に関する審議結果についての御意見・情報の募集について	集計中
H17年2月24日 ～3月20日	「平成17年度食品安全委員会運営計画（案）」に対する意見の募集について	募集中
H17年2月24日 ～3月20日	「ラウンドアップ・レディー・アルファルファ J101 系統、ラウンドアップ・レディー・アルファルファ J163 系統」の食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての御意見・情報の募集について	募集中
H17年2月24日 ～3月20日	ナタマイシンの食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての御意見・情報の募集について	募集中

3. 情報の発信

時期	媒体	内容
H17.2	ホームページ	「日本初のVCD症例が確定したことについての食品安全委員会委員長談話（平成17年2月4日）」を公表

4. その他の取組

(1) 「食の安全ダイヤル」を通じた質問・報告の把握

受付件数

内 訳	2 月
食品安全委員会関係	22件
食品健康影響評価関係	18件
食品安全基本法関係	0件
リスク管理一般関係 (うち食品表示に関するもの)	34件 (8件)
その他	2件
合 計 (うちBSE関係)	76件 (27件)

主な質問等

- ・食品安全委員会の行う食品健康影響評価の対象について教えてください。医薬品も対象となるのですか。
- ・遺伝子組み換え食品の安全性はどのような考えで評価されているのかわかりやすく教えてください。
- ・v C J Dの潜伏期間について教えてください。
- ・15頭目の感染牛が発見されましたが、これまでに確認されたBSE感染牛について、月齢と品種など、その概要について教えてください。

(2) 「食品安全モニター」を通じた意見等の把握

1月中には39件(BSE関係10件、食品衛生関係9件、食品添加物関係3件など)があり、リスクコミュニケーションに関するものについては、リスクコミュニケーションの担い手として消費生活アドバイザーの活用が有効と考えるという趣旨のものがあつた。リスク管理機関に関する意見等については、厚生労働省、農林水産省に送付し、広く食品の安全性の確保に関する施策の参考に供するとともに、必要に応じてコメントを付して、食品安全委員会に報告した。

また、2月から3月にかけてはBSE関係の御意見をはじめとして82件(3月11日現在)の報告があつた。

(別紙2)

厚生労働省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成17年2月4日～平成17年3月16日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

(1) 食品に関するリスクコミュニケーション

・厚生労働省において、食品安全行政の取組や健康食品をテーマとしたリスクコミュニケーションを開催したほか、個別テーマとして、食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組に関する意見交換会を開催。

(資料3を参照)

(2) リスクコミュニケーションの在り方の検討

「食の安全に関するリスクコミュニケーションの在り方に関する研究会」を開催し、厚生労働省が今後行うべきリスクコミュニケーションの方向性を検討し、中間取りまとめに向けて調整中。

2. 意見募集の実施状況(平成17年2月4日～平成17年3月16日)

募集期間	案件名	募集状況(通数)
H17.3.2～H17.4.1	「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月厚生省告示第370号)の一部改正(農産物等に係る農薬ピフェナゼートの残留基準設定)」に関する意見の募集について	集計中
H17.3.2～H17.4.1	「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月厚生省告示第370号)の一部改正(農産物等に係る農薬フェンアミドンの残留基準設定)」に関する意見の募集について	集計中

3. 情報の発信(平成17年2月4日～平成17年3月16日)

(1) 食品の安全確保に向けた取組のホームページ「食品安全情報」

食品の安全確保に向けた取組について「食品安全情報」のホームページにまとめ、情報を提供。

ホームページについては、現在、食の安全に関するリスクコミュニケーションの在り方に関する研究会の議論を元に、より見やすくわかりやすいページを目指して検討中。

(2) 主な情報提供の内容

時期	媒体	内容
H17.2.4	ホームページ	国内における変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の発生について
H17.2.4	ホームページ	牛海綿状脳症(BSE)等に関するQ&A
H17.2.4	ホームページ	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病に関するQ&A
H17.2.4	ホームページ	変異性クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に関する電話相談窓口の設置等について

H17.2.9	ホームページ	牛レバーによるカンピロバクター食中毒予防について（Q & A）
H17.2.10	ホームページ	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（v C J D）に関する今後の電話相談について
H17.2.22	ホームページ	特定保健用食品の表示許可等一覧について
H17.3.3	ホームページ	国際専門家会議（JECFA）におけるカドミウムの評価結果について
H17.3.7	ホームページ	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（v C J D）に係る感染経路について

（3）消費者からの意見等の受付

「食品安全情報」のホームページ上に、食品の安全性に関する行政の取組や情報提供のあり方についての意見等を受け付けるためのメールボックスを設置し、対応。

農林水産省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成17年2月5日～平成17年3月16日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

(1) 大臣、消費・安全局との意見交換会・懇談会の開催

期間中の開催実績なし

(2) 「食品に関するリスクコミュニケーション」

これまで東京で実施した個別テーマ毎の意見交換会のうち、特に消費者の関心の高いテーマである「農薬」について、10月22日の兵庫県に引き続き、宮城県で開催した。

(2月9日「農薬に関する意見交換会」 開催地：宮城県)(資料3 参照)

(3) 地方農政局等における意見交換会等の取り組み

地方農政局、地方農政事務所、沖縄総合事務局において、シンポジウムや意見交換会等の主催やパネラーや講師の派遣を実施。

主な意見交換会

2月10日 食品に関するリスクコミュニケーション(食品中の化学物質の安全性に関する意見交換会)(中四国農政局)

2月18日 食品に関するリスクコミュニケーション(食品のリスクアナリシス(リスク分析)に関する意見交換会)(九州農政局)

「16年12月末現在での件数」

シンポジウムや意見交換会等の主催 全国計 717回(16年4月～)

(平成15年7月～16年3月 全国計 1,222回)

パネラーや講師の派遣 全国計 5,197回(16年4月～)

(平成15年7月～16年3月 全国計 3,539回)

2. 意見募集の実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
H17.3.4～ 4.4	「アメリカ合衆国産乾草に混入したむぎわらかもじぐさ属植物の茎葉に係る農林水産大臣が定める基準」の一部改正	(募集中)

	(案)	
H17.2.25 ~3.26	動物用医薬品製造所等構造設備規則(案)	(募集中)
H17.2.23 ~3.24	動物用医薬品の製造販売後の調査及び試験の実施の基準に関する省令(医薬品G P S P)(案)及び動物医療機器の製造販売後の調査及び試験の実施の基準に関する省令(医療機器G P S P)(案)	(募集中)
H17.2.23 ~3.24	動物用医療機器の安全性に関する非臨床試験の実施の基準に関する省令(G L P)(案)及び動物用医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令(G C P)(案)	(募集中)
H17.2.16 ~3.17	遺伝子組替え生物等の第一種使用規程の承認申請案	(募集中)
H17.2.15 ~3.16	動物用生物学的製剤基準の一部改正(案)	(集計中)
H17.2.1~ 3.2	種苗の生産段階に使用された農薬について 2. 農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令の一部を改正する省令(案)	8件
H17.2.1~ 3.3	家畜伝染予防法施行規則の一部を改正する省令(案)	(募集中)

3. 情報の発信

ホームページやメールマガジンを通じた情報提供

「食の安全・安心のための取組」

(URL:http://www.maff.go.jp/syoku_anzen/top.htm)

「食の安全・安心トピックス」(農林水産省をはじめ食品安全委員会、厚生労働省からの食の安全・安心情報を、毎日発信中)

(配信数: 10,901通(3月14日現在))

(URL: <http://www.maff.go.jp/mail/index.html>)

なお3月2日より、メールマガジン配信者のご要望にお応えし、農林水産省をはじめ、食品安全委員会、厚生労働省等が募集しているパブリック・コメントが検索出来る、「パブリックコメント(ご意見・情報)の募集一覧」を設置しました。

